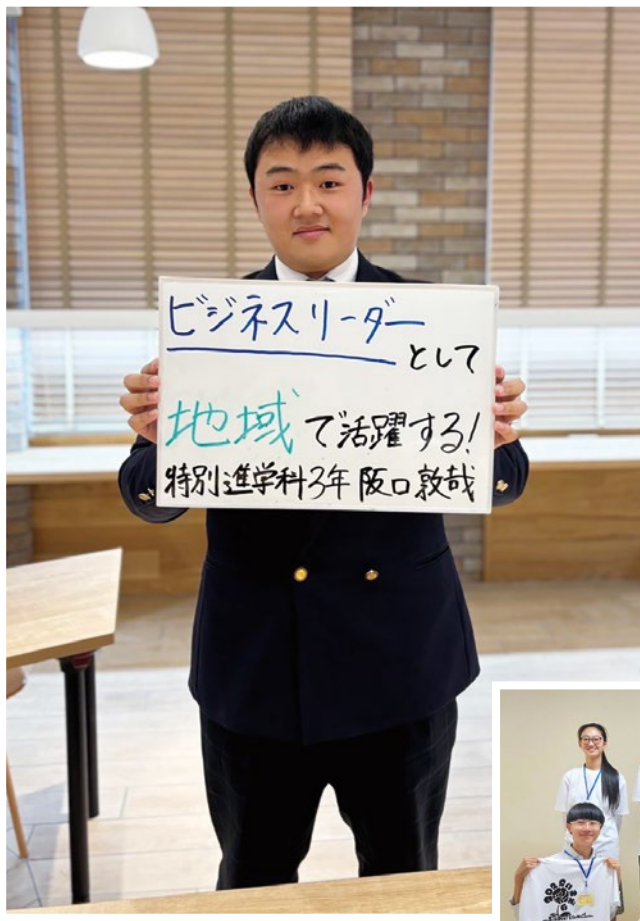


# ふくい

# 社会福祉

2026  
**3・4**  
No.477

Fukui Social Welfare



## ふくし 福志新世代 Vol.5

阪口 敦哉さん (18)

Atsuya Sakaguchi

福井工業大学附属福井高等学校  
令和7年度前期生徒会会長

自分自身の手で福井高校を動かしていきたいと思い、生徒会に入りました。約2年間、生徒会活動に携わらせていただき、イベントの企画・運営や委員会活動、さらには他校との交流にも力を入れ、福井高校の新たな可能性を実現させるために様々な活動に挑戦してきました。

特に今年度の学校祭では模擬店の収益を子ども食堂の運営や立ち上げの支援のために寄付させていただきました。飲食系の模擬店を運営したところから共通する部分があるのではないかと思います、少しでも未来の子どもたちに役立てたいと考えました。今後も地域の皆様に恩返しの気持ち

持ちが返せれば嬉しいです。

大学進学後は、地域産業や経営に関する知識を身につけ、起業についても学びを広げようと考えています。

今後も生徒会での活動を生かしながら、社会に貢献していきたいです。(10Pに関連記事)



### CONTENTS

#### 2,3P 特集 「第6次ふくい地域福祉プラン21」の概要

3P 案内 ◆ 賛助会員募集

4P 報告 ◆ 「高齢者の活動等に関するアンケート」から見てきたこと

5,6P 案内 ◆ 社会福祉関連民間助成事業の紹介

7P 報告 ◆ 市町社協災害時福祉支援活動強化研修  
～被災者の「ニーズ」に寄り添うために～

7P 案内 ◆ 義務教育教員免許取得志願者介護等体験  
学生受入れ施設募集

8P 案内 ◆ 令和8年度 福井県社会福祉研修所  
研修実施計画

9P 広告 ◆ ボランティア活動保険

10P 報告 ◆ 寄付・寄贈  
案内 ◆ 令和8年度 各種貸付事業のご案内



# 「第6次ふくい地域福祉プラン21」の概要



本会では、平成13年(2001年)の創設50周年を機に、地域福祉の推進に向けて県民、関係者との協働活動を計画化した地域福祉活動計画「ふくい地域福祉プラン21」を策定し、活動に取り組んできました。

その後、5度の改訂を経て、この度、令和8～10年度を推進期間とする「第6次ふくい地域福祉プラン21」(以下、「第6次プラン」という。)を策定しました。

## 第6次プラン策定の背景

前プラン(第5次プラン)の推進期間(令和2～6年度)においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動制限や対面機会の減少が生じ、その結果、ボランティアの普及促進や地域における権利擁護体制の推進、種別組織の活動支援、地域福祉における各種ネットワークの構築などの取組みについて、十分に進展させることが困難な状況がありました。

この間、社会のあり方が大きく変化し、人口減少や少子高齢化が一層進み、福祉現場では人材不足がより深刻化し

ています。さらに、コロナ禍によって地域のつながりが希薄化したことで生じた社会的孤立の問題や、急激な物価・賃金上昇による福祉施設の経営難など、新たな課題も顕在化してきました。

これらの福祉課題に対応するため、福祉関係者の生の声を聴き取り、国や県の政策動向を踏まえつつ、重点課題を明確化した次期プランを策定し、関係者との連携を一層強化しながら、全職員が次期推進期間においてその取組みを進めていくこととしました。

令和7年度は、第5次プランの未達成課題に対して検討と手法見直しを行いながら継続して取り組む一方で、第6次プランの策定作業も進めました。

## 【第6次プランの概要】

令和8年度を始期とする第6次プランは、本会としての基本理念および組織理念、組織スローガンを継承し、第5次プランの枠組みを踏襲しつつ、同プランの評価や現在の喫緊の課題を踏まえ、ブラッシュアップし前進させた計画としています。

また、先に述べた状況の変化に的確に対応するため、柔軟に見直し可能な短期(3年間)計画とするほか、直面している課題に対して重点的に取り組むため、4つの重点テーマを設定しました。

## 4つの重点テーマ

〈重点テーマ①〉  
福祉人材の一層の定着強化に向けた取組み

人材確保が困難な中、持続可能で質の高い福祉サービスを維持するため、人材の「確保・育成・定着」に取組み、特に「定着支援」を強化します。

〈重点テーマ②〉  
持続可能な福祉事業経営について将来の見通しをともに考える取組み

事業経営の将来の姿(あり方)を見据え、持続可能な経営のための3つの視点「経営・人材・サービス」のビジョンづくり支援に取組み、特に「経営支援」を強化します。

〈重点テーマ③〉  
誰もが主体となって支え合う、安心できる地域を目指す取組み

孤立・困窮などの生活課題や災害時の支援を視野に入れ、地域の誰もが主体となって支え合える共生社会の実現のため、「個別支援、地域づくり支援、参加支援」に様々なかたちで関与し、特に「地域づくり支援」を強化します。

〈重点テーマ④〉  
安心できる社会の実現のために、こどもたちの心を育む取組み

若い世代・こどもたちと同じ目線に立ち、「誰もが皆で支え合う地域の大切さ」についてともに学び、行動する過程を通じて、地域づくりの「担い手の心を育んでいく取組み」を強化します。

## 第6次ふくい地域福祉プラン21

計画期間:令和8(2026)～令和10(2029)年度



詳しい内容は本会ホームページからご覧いただけます。

# 第6次ふくい地域福祉プラン21(令和8~10年度)

## 本会の理念 (普遍的)

【基本理念】  
福井県社協がめざす社会福祉の姿

誰もが身近な地域で  
その人らしく安心して暮らせる  
福祉社会の実現

【組織理念】  
福井県社協がめざす組織像

私たちはあなたと語り合い  
ともに考え、歩みながら  
笑顔あふれる福井づくりに  
全力を尽くします

【組織スローガン】  
理念を共有するための合言葉

つないでキラリ☆  
まち・ひと・えがお



### 【3つの基本目標と14の推進方策】

対象別(地域、福祉法人、組織)の3つを基本目標に掲げる

#### 基本目標1

「誰も取り残さない支え合いのしくみづくり」 **地域**

推進方策

- 1 誰もが居場所と出番をもてる地域づくりへの支援
- 2 県民を主役にしたボランティア活動の推進
- 3 地域福祉課題の解決をめざす
- 4 生活困窮者等を取りこぼさない支援体制の強化
- 5 地域における権利擁護体制づくりへの支援
- 6 共生の地域づくりで中核を担う市町社協への支援
- 7 災害福祉支援の基盤づくり

#### 基本目標2

「未来へ続く福祉事業経営と担い手づくり」 **福祉法人**

推進方策

- 8 福祉人材確保と定着のための支援の強化
- 9 魅力ある福祉の職場づくり・定着支援
- 10 福祉現場の課題解決に向けた研修の企画・実施
- 11 社会福祉法人経営への支援
- 12 福祉サービスの基盤強化への支援

#### 基本目標3

「新たな課題に取り組む組織・ネットワークづくり」 **組織**

推進方策

- 13 課題共有・情報発信機能の強化
- 14 組織・財政機能の強化

### 【4つの重点テーマ】

左記の「推進方策」に基づく取組み  
(=福井県社協の全ての取組みを網羅)  
の中で、今計画期間中、特に重視する取  
組みのテーマを整理したもの

#### 重点テーマ①

**福祉人材の一層の定着強化**に向けた  
取組み

#### 重点テーマ②

**持続可能な福祉事業経営**について  
将来の見通しをともに考える取組み

#### 重点テーマ③

**誰もが主体となって支え合う、安心  
できる地域**を目指す取組み

#### 重点テーマ④

安心できる社会の実現のために、  
**こどもたちの心を育む**取組み



今後、本計画を地域福祉に関わるすべての方々と共有し、  
一丸となって事業・実践を進め、「誰もが身近な地域でその  
人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指します。

## 取組みを着実に進めるために… 賛助会員募集

県社協の事業活動の財源は、会費や県民の皆様からのご芳志、国や県等の補助金、事業参加費等による収入などに支えられています。特に会費については、民間団体として県内における地域福祉の推進を図るためには欠かすことのできないものです。

本会の取組みの趣旨を広く皆様にご理解いただき、さらに活動を充実させるため、賛助会員を随時募集しています。ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**賛助会費：105,000円/年**

【お問合せ先】 総務企画課 総務部門 TEL 0776-24-2339

Eメール somu@f-shakyo.or.jp

# 「高齢者の活動等に関するアンケート」

## から見えてきたこと

福井県すこやか長寿センター運営委員会 委員長  
福井大学 国際地域学部 准教授

田中志敬氏



昨年11～12月  
に福井県すこやか  
が実施した「高  
か長寿センター

齢者の活動等に関するアンケート」では、20歳代から80歳以上の男女155名から回答を得ました。主な項目は「現在の活動内容」と「今後活動したい内容」を「健康・介護予防」「デジタル・ICT」「趣味・文化」「社会参加」「生涯学習」「金融・生活設計」「災害・防災」「その他」の8つの項目とし、3つまで選択してもらい、その理由を記述してもらいました。

現在の活動内容は、回答割合が高い順に「健康・介護予防(54.2%)」「社会参加(51.9%)」「趣味・文化(46.2%)」が多く、そのほかの項目については8～9%台でした。一方で、今後活動したい内容では、「健康・介護予防(54.2%)」「社会参加(49%)」「趣味・文化(45.8%)」の割合が高い傾向は変わりませんが、「生涯学習(25.2%)」「金融・生活設計(19.4%)」「災害・防災(17.4%)」「デジタル・ICT(14.2%)」の

割合も比較的高く、より幅広い分野での活動を望んでいる県民の姿が明らかになりました。

また、現在の活動内容の選択理由を見ると、61.3%の回答者が「社会的つながり・孤立防止」を理由としており、次いで58.7%の回答者が「健康維持・生活の質向上」、54.8%の回答者が「自己実現・生きがい」を挙げています。

一方で、今後の活動内容の選択理由の記述内容では、64.5%が「自己実現・生きがい」、58.1%が「社会的つながり・孤立防止」、56.1%が「健康維持・生活の質向上」となります。つまり、将来的に自己実現や生きがいにつながる活動を希望しつつも、実際には社会的つながりや孤立防止、健康維持や生活の質向上といった、身近な生活課題に根差した活動に注力する実情が浮かび上がりました。

また、世代別の現在の活動内容の選択理由を見ると、20～40歳代は若く子育て層が多いことから、「健康維持・生活の質向上」は全体的に低位で、「地域貢献・役割意識」がやや高い傾向があり

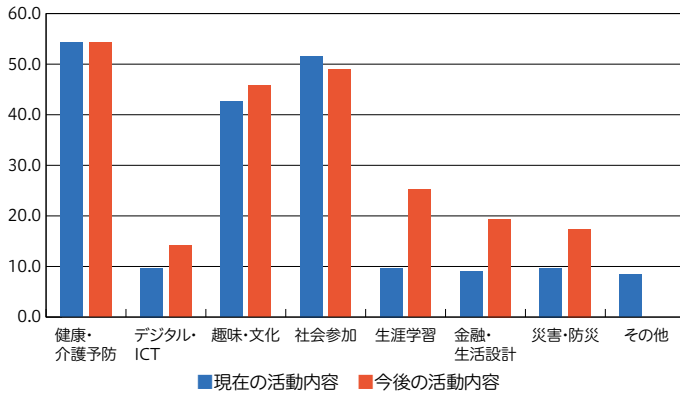
ます。50歳代は遠くない将来への備えからか、「健康維持・生活の質向上」を重視する傾向があり、60歳代と70歳代では、定年退職前後の影響もあってか、「社会的つながり・孤立防止」を重視する傾向にあります。80歳以上については、直面する現状をふまえ、「健康維持・生活の質向上」や「自己実現・生きがい」が増します。



さらに、世代別の今後の活動内容を見ると、20～40歳代と50歳代では将来を見据えての「社会的つながり・孤立防止」を重視する傾向にあるなど、多くの世代で「自己実現・生きがい」「地域貢献・役割意識」を重視する傾向が高まっています。

以上をふまえると、今後の長寿すこやか社会の実現には、各世代で直面する生活課題の解決と、余力から生じる自己実現や社会貢献活動の両輪を支える社会的なサポート体制の強化が求められていると言えます。

現在・今後の活動内容の割合(%)



年齢別の現在・今後の活動内容の選択理由の割合 (%)

	健康維持・生活の質向上	社会的つながり・孤立防止	自己実現・生きがい	地域貢献・役割意識	経済的・実利的理由
現在	58.7	61.3	54.8	23.9	16.1
20～40歳代	42.9	57.1	42.9	35.7	7.1
50歳代	61.9	38.1	38.1	14.3	19.0
60歳代	56.9	60.3	55.2	19.0	24.1
70歳代	61.8	74.5	61.8	29.1	7.3
80歳以上	71.4	42.9	71.4	28.6	28.6
今後	56.1	58.1	64.5	26.5	18.7
20～40歳代	50.0	71.4	64.3	64.3	35.7
50歳代	60.0	55.0	65.0	20.0	10.0
60歳代	62.1	56.9	67.2	22.4	19.0
70歳代	50.9	63.6	63.6	23.6	18.2
80歳以上	66.7	16.7	66.7	33.3	16.7

# 活用してみませんか？ 社会福祉関連民間助成事業の紹介

内容は変更になる可能性がありますので、事前に必ず各助成団体のホームページと募集要項をご確認ください。  
 本会ホームページ [https://www.f-shakyo.or.jp/] では、助成情報を随時更新しています。

[掲載内容は令和7年度の実績です。]

名称	助成対象	助成額等	申込締切	問合せ先
福井県シニアチャレンジ応援事業	高齢者中心の5名以上のグループ	①新たに立ちあげるグループの活動上限20万円 ②既設のグループ活動上限10万円 ③生きがいつくり活動上限10万円	随時受付	福井県健康福祉部長寿福祉課 0776-20-0331
ふくしん地域振興協力基金	公共的な活動を行う団体	事業活動の企画実施に要する経費の50%以内かつ基本300千円以内	4月中旬	(公財)ふくしん地域振興協力基金 0776-25-8533
福井県しあわせ福祉資金	ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人、社会福祉法人等	1団体あたり20万円以内	5月上旬	福井県健康福祉部地域福祉課 福井県しあわせ基金事務局 0776-20-0322
福井県子どもしあわせ福祉資金	ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人、社会福祉法人等	1団体あたり50万円以内		
第15回国内研修事業	社会福祉法人・NPO法人に所属し、障害福祉サービスに従事している方、実務経験3年以上、上限年齢40歳程度の方	受講料無料、交通費実費・宿泊費等助成	5月上旬	
地域連携研修助成事業(法人主催型)	障害福祉の増進を目的として社会福祉事業を営む社会福祉法人あるいはNPO法人	1件につき10万円～ 上限50万円	5月下旬	(福)清水基金 03-3273-3503
調査研究助成事業	障害福祉の増進を目的として社会福祉事業を営む社会福祉法人あるいはNPO法人	1件につき30万円～ 上限100万円	9月末日	
ボランティア活動助成	社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(満60歳以上)が80%以上のグループ 社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者・個人事業主)が80%以上のグループ	1件原則10万円、特に内容が優れている場合は20万円限度で助成	5月下旬	(公財)大同生命厚生事業団 06-6447-7101
おもちゃセット助成事業	ボランティアが運営する全国の「おもちゃ図書館」や、老人福祉施設・老人ホーム等に開設する「おもちゃ図書館」	対象事業ごとに設定 (5万円、10万円、20万円相当のおもちゃセット提供)	5月下旬	(一財)日本おもちゃ図書館財団 03-6435-2842
地域福祉チャレンジ活動助成	①～③の要件を満たしている団体 ①助成テーマにチャレンジする意欲がある団体 ②他の団体・機関、住民組織、研究者等と協働してチャレンジする団体 ③1年以上の活動実績がある団体	1団体最大400万円	5月末日	(公財)日本生命財団 06-6204-4013
第35回福井県まごころ基金助成事業	法人格のないボランティア・市民活動団体、特定非営利活動法人、一般社団法人、一般財団法人	1事業あたり20万円上限	5月末日	(福)福井県社会福祉協議会 総務企画課 福井県まごころ基金助成事業係 0776-24-2339
実践的研究助成(実践的課題研究・若手実践的課題研究)	研究者または実践家	実践的課題研究: 1件最大400万円 若手実践的課題研究: 1件最大100万円	6月中旬	(公財)日本生命財団 06-6204-4013
伊藤忠記念財団助成事業	ボランティア、非営利団体 特別支援学校	①子どもの本購入費一律30万円 ②病院・施設子ども読書活動費一律30万円 ③子どもの本を100冊 特別支援学校図書支援一律30万円	6月下旬	(公財)伊藤忠記念財団 03-3497-2651
第51回丸紅基金社会福祉助成金	社会福祉法人、NPO法人などの非営利法人	1件あたり上限300万円	6月末日	(福)丸紅基金 03-3282-3835/7592
社会福祉助成金事業	社会福祉法人、特定非営利活動法人等の非営利法人および任意団体等	障がい児に関する事業および研究事業総額の90%以内かつ20万円以上150万円以内	7月上旬	(公財)みずほ福祉助成財団 03-5288-5905
社会福祉助成事業	医療的ケア児者の支援を行っている法人・団体	医療的ケア児者の福祉向上案件 1件あたり原則50万円限度	7月末日	(一財)松翁会 03-3201-3225
社会福祉事業(自動車購入費助成)	①～③のすべてを満たしている団体 ①募集地域②特定非営利活動法人③主として障害者の福祉活動を行う団体	1団体170万円上限	7月上旬	(公財)SOMPO福祉財団 03-3349-9570
特定活動助成	心のケアのための傾聴ボランティアとして活動をしている団体	年50万円(上限)	7月中旬	(公財)ユニバール財団 03-3350-9002
スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム	日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体で、活動実績がある団体	①チャレンジコース50万円以下 ②アドバンスコース200～300万円以下	8月下旬	(公財)住友生命健康財団 03-5925-8660
競輪・オートレースの補助事業	社会的課題の解決に取り組む活動	対象事業ごとに設定	対象事業ごとに設定	(公財)JKA https://hojo.keirin-autorace.or.jp
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成	国内に在住し、生活困難などのさまざまな困難の状況にある外国にルーツがある人々を支援する活動を展開する非営利団体	①生活等支援プログラム1活動(事業)あたり300万円 ②共生促進プログラム1活動(事業)あたり100万円 ③中間支援・ネットワーク支援プログラム1活動(事業)あたり200万円 ④調査研究プログラム1活動(事業)あたり200万円	8月上旬	(福)中央共同募金会基金事業部 03-3581-3846
第19回未来を強くする子育てプロジェクト女性研究者への支援	現在、育児のため研究の継続が困難な女性研究者および子育てをしながら研究を続けている女性研究者	最大200万円	9月上旬	未来を強くする 子育てプロジェクト事務局 03-3265-2283
第32回ボランティア活動助成	5名以上で活動し、かつ営利を目的としない団体	①高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動およびその他社会的意義の高いボランティア活動1団体あたり上限30万円 ②地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動1団体あたり上限30万円	9月中旬	(公財)大和証券財団 03-5555-4640
こどもの未来応援基金 令和8年度未来応援ネットワーク事業	NPO法人、公益法人、一般法人、社会福祉法人、医療法人、学校法人、その他ボランティア団体や町内会など、非営利かつ公益に資する活動を行う任意団体等	国内に在住するこどもの貧困対策のための事業 事業A(運営基盤の強化・掘り起こし等) 150万円超400万円以下/事業B(小規模活動団体を主眼とした立ち上げ支援等) 150万円以下	9月中旬	(独)福祉医療機構 NPOリソースセンター NPO支援課 03-3438-4756
子ども未来支援事業(子ども食堂等への助成)	福井県内で子ども食堂を新たに開設する団体	1団体あたり20万円以内	9月末日	(福)福井県社会福祉協議会 総務企画課 子ども未来支援事業係 0776-24-2339
社会福祉育成活動推進のための助成事業	社会福祉事業を(福祉施設の運営、福祉活動①子どもたちの健全な育成②地域コミュニティの活性化③社会的弱者に対する活動④被災などで見えてきた課題に対する活動⑤国内における国際的活動など)を行う民間の団体(非営利の法人)	設備・備品類 1団体あたり上限30万円	9月末日	(公財)愛恵福祉支援財団 03-5961-9711
地域貢献助成	NPO法人、任意団体、市民団体など	1団体あたり1事業のみ、上限50万円	9月末日	こくみん共済coop福井推進本部 事業推進部事業推進課 0776-26-6187
社会福祉事業(NPO基盤強化資金助成[認定NPO法人取得資金助成])	社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人	1団体30万円	10月上旬	(公財)SOMPO福祉財団 03-3349-9570
環境市民活動助成	地域の環境市民団体(非営利の活動、任意団体[NPO法人、一般社団法人、自治会・町内会含む])	①地域美化助成1団体あたり最大50万円/年 ②未来へつなごう助成1団体あたり最大30万円/年 ③活動助成1団体あたり最大100万円/年 ④NPO基盤強化助成1団体あたり最大400万円/年×原則3年	10月末日	(一財)セブンイレブン記念財団 03-6238-3872
公募助成(特別枠)	石川県、富山県、新潟県、福井県に拠点を置く団体	令和6年能登半島地震の被災地・被災者支援活動1件50万円以下	10月末日	(公財)JR西日本あんしん社会財団 06-6375-3202
東京海上日動あんしん生命奨学金制度	疾病により保護者を失った遺児で、高等学校等から大学等への進学希望があり、経済的理由により援助を必要とし、「申請資格」「所得」の両方に該当する方	給付額年間30万円	10月末日	(公社)日本フィナンソロビー協会 東京海上日動あんしん生命奨学金制度事務局 03-5205-7580

名称	助成対象	助成額等	申込締切	問合せ先
第16回国内研修事業	社会福祉法人・NPO法人に所属し、障害福祉サービスに従事している方、実務経験3年以上、上限年齢40歳程度の方	受講料無料、交通費実費・宿泊費等助成	11月上旬	(福)清水基金 https://www.shimizu-kikin.or.jp
障がい者給料増額支援助成金	障がい者の給料増額に努力し取り組む事業所・施設	50万円～500万円	11月末日	(公財)ヤマト福祉財団 03-3248-0691
障がい者福祉助成金	給料増額にはこだわらず、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動(福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等)	上限100万円	11月末日	
日本郵便年賀寄付金配分団体公募	社会福祉法人、更生保護法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、特定非営利活動法人(NPO法人) 一般枠の申請対象団体のほか、営利を目的としない法人	(一般枠)①活動・一般プログラム、施設改修、機器購入、車両購入上限500万円 ②活動・チャレンジプログラム上限50万円 (特別枠)東日本大震災、令和6年能登半島地震の被災者救助・予防(復興)上限500万円	11月上旬	日本郵便株式会社サステナビリティ推進部 年賀寄付金事務局 03-3477-0567
第1期助成事業	子どもを対象とする食育活動団体、食の居場所づくり活動団体	プログラムA(食育活動助成)100万円までの希望額 プログラムB-1(食を通じた居場所づくり助成)70万円までの希望額 プログラムB-2(スタートアップ助成)一律15万円 プログラムB-4(食材費助成)一律10万円	11月中旬	プログラムAを含む申請全般(公財)キュービーみらいたまご財団事務局 03-3486-3094 プログラムBについての問合せ(一社)全国食支援活動協会事務局 03-5426-2547
児童・少年の健全育成助成(物品購入資金助成)	次の要件を満たしている民間の団体(法人格の有無は問わない) ①申請時点で設立後1年以上の活動実績がある団体 ②常時10名以上の構成員がいる団体 ③構成員の半数以上が18歳未満の児童・少年である団体 ④少なくとも月1回以上を月処として定例活動を行っている団体 ⑤助成により購入した物品を直接・継続的に活用し管理できる団体	対象活動(自然と親しむ活動、異年齢・異世代交流活動、子育て支援活動、療育支援活動、フリースクール活動)を継続的に展開するにあたって、その活動に不可欠な直接的な活動用品で、子どもたちが主体的・継続的に共有して活用する物品1団体30～80万円	11月中旬	(公財)日本生命財団 06-6204-4014
公募助成金	児童福祉、障害福祉、高齢者福祉、医療福祉などを行う民間団体	①公募福祉助成金(一般枠)1団体につき50万円以内 ②高齢者福祉特別枠1団体50万円以内 ③児童福祉特別枠1団体50万円以内	11月下旬	(公財)毎日新聞大阪社会事業団 06-6346-1180
連合・愛のカンパ助成金	助け合いによる生活支援活動や居場所、移動支援、見守り活動などを主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークルなど	上限15万円	11月末日	(公財)さわやか福祉財団 (立ち上げ支援プロジェクト) 03-5470-7751
POSC社会貢献活動支援のための助成	非営利団体	1件150万円以内	12月上旬	(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSC) 03-5227-1047
第3回LIFULL HOME'S基金	DV被害を受けている方々、経済困難しているひとり親家庭、家族に頼れない子ども・若者、日本に逃れてきた難民、ホームレスなど生活困難者の方々を対象にした生命を守るためのシェルター・一時的な住まいの提供を行う事業	シェルター・一時的な住まいの提供と利用者の居住にかかる事業費用1件あたり上限100万円	12月中旬	(公財)日本フィランソロピック財団 050-3521-0160
ボラサポ「日頃からのつながりづくりで災害関連死を起さない地域をめざす活動助成事業」	県域や市町村域を対象として活動する民間団体で、本助成事業を取り組むにあたり他団体との連携をコーディネートできるボランティアグループ、住民自治組織、特定非営利活動法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人、一般社団法人等であって、指定の要件にあてはまる非営利組織	50～500万円(1団体/年)	1月中旬	
「ボラサポ・令和6年能登半島地震」第10回長期助成事業	被災地及び避難地域を対象とした活動をしているボランティアグループ、住民自治組織、特定非営利活動法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人、一般社団法人等の民間団体であって、指定の要件にあてはまる非営利組織	1団体あたり上限600万円		(福)中央共同募金会基金事業部(ボラサポ担当) 03-3501-9112
ボラサポ(事前登録審査)被災地支援NPO助成事業	以下のいずれにも該当する団体 ①発災時に緊急支援期から現地入りできる団体 ②被災地支援の実績及びボラサポの助成を受けた実績のある団体 ③被災地において、A)家屋保全等の活動、B)避難所運営支援、C)災害ボランティアセンターの運営支援、のいずれかの活動を行う団体 ④指定の要件にあてはまる非営利団体	1団体あたり上限200万円	1月下旬	
ENEOS奨学助成	児童養護施設、母子生活支援施設、里親家庭およびファミリーホームの児童等	1名あたり10万円	1月下旬	(福)全国社会福祉協議会児童福祉部「ENEOS」奨学助成 03-3581-6503
社会福祉振興助成事業(WAM助成)(通常助成事業・モデル事業)	NPO法人など、社会福祉の振興に寄与する事業を行う、営利を目的としない法人・任意団体	(通常助成事業) 地域連携活動支援事業50～700万円 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業50～900万円 (モデル事業) 3年間で3,000万円まで、2年間で2,000万円まで	1月下旬	(独)福祉医療機構 NPOリソースセンター NPO支援課 03-3438-4756
社会福祉振興助成事業(WAM助成)(補正予算事業)	社会福祉法人、NPO法人など、社会福祉の振興に寄与する事業を行う、営利を目的としない法人、任意団体	(補正予算事業) 地域連携活動支援事業50～700万円 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業50～900万円		
ソフトバンク・チャリティスマイル第10回「安心して社会に巣立つ」応援助成	社会的養護施設等から自立に向けて歩む子どもたちのアフターケアに取り組んでいる退所児童等支援事業所、虐待、貧困、家庭の機能不全など多様な困難を抱えながらも十分に公的支援を受けることのできなかった子どもや若者たちの自立支援等に取り組む団体、社会的養護経験者等で構成された当事者団体等の非営利団体など	1事業あたり上限50～100万円	1月下旬	(福)中央共同募金会基金事業部(チャリティスマイル担当) 03-3581-3846
第21回福井県民生協市民活動助成金	地域に役立つ活動に取り組むNPOや市民団体	1団体上限10万円	1月末日	福井県民生協同組合本部センター 組織ネットワーク支援部 0776-52-8460
ふくい市民活動基金助成事業	福井市内に活動拠点がある3名以上の団体	スタートコース上限10万円、自由提案コース上限20万円 協働提案コース上限40万円	2月中旬(事前エントリー)	福井市民活動・ボランティア推進課 0776-20-5107
児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成)	研究者、または実践家(研究者であり実践家である方を含む)	2年助成1件最大400万円 1年助成1件最大100万円	2月下旬	(公財)日本生命財団 06-6204-4013
地域福祉振興助成	障がい者等を支援する福祉活動、ボランティア活動に取り組む団体・グループ	物品購入、企画・広報上限100万円、工事上限150万円 車両購入上限200万円	2月下旬	(公財)木口福祉財団 0797-21-5150
児童養護施設等助成金	児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム	1施設上限100万円	2月末日	(公財)こどもの未来創造基金事務局 03-6456-4180
地域支援活動団体に対する奨励金交付事業	福祉・医療などの地域支援活動団体(公益法人、市民団体、高校・大学のサークル等)	1団体一律10万円	2月末日	NPO法人ツルハ 医療・介護サービス協会 syakaikouken@npo-tsuruha.jp
第15回杉浦地域医療振興助成	医師、薬剤師、看護師等の医療従事者および介護福祉従事者等の多職種が連携して、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する研究や活動	研究分野1件につき200万円限度 活動分野1件につき50万円限度	2月末日	(公財)杉浦記念財団 0562-45-2731
第38回地域福祉を支援する「わかば基金」	国内で、ある一定の地域に福祉活動の拠点を設けていて、この支援金でより活動を広げたいというグループ 地域で活発に福祉活動に取り組んでいて、PCやモバイル端末を使用することで、より高齢者や障害当事者への支援の充実を図れるグループ	[支援金部門] 1グループにつき、最高50万円 [PC・モバイル端末購入支援部門] 1グループにつき、最高10万円	3月下旬	(福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」係 03-3476-5955
障がい者支援施設助成金	障がい者支援施設が障がい者の生活環境の充実と、生活環境に必要とされる設備等の購入や活動の費用	1施設上限50万円	3月末日	(公財)善い心を未来へつなぐ財団 E-mail:info@yoikokoro-mirai.org

# 市町社協災害時 福祉支援活動強化研修

## ～被災者の「ニーズ」に寄り添うために～

令和8年2月26日、県社会福祉センターにて、李 仁鉄氏（NPOにいがた災害ボランティアネットワーク 理事長）を講師に招き、災害支援活動の本質である「被災者のニーズに寄り添う支援」について理解を深める研修を開催しました。当日は、市町社協職員、行政職員ら15名が参加しました。

講義では、支援者側は、つい自分達に何が出来るかを先に考えてしまいがちだが、重要なことは、「被災者が何を求めているか」を見つめていくこと。そのためには、被災者との信頼関係が大切であること。また、最初にニーズをつかんだ窓口で対応できない事がらであっても、対応可能な組織や団体へ適切につなぐことで、支援の輪を広げることができるとの助言がありました。

参加者は、こうしたネットワークの拡大が災害時の支援の限界を押し広げ、被災者のニーズに応えることにつながることを学びました。

日頃から、支え合いの地域づくりや、様々な団体や人とのネットワークづくりに取り組む社協だからこそ、日々の実践の積み重ねが災害時にも活かされる。目の前の作業に追われるのではなく、目の前の人をしっかりと聴き、社協らしいネットワークを土台にした寄り添い支援のあり方について見つめ直す機会となりました。



## 義務教育教員免許取得志願者介護等体験 学生受入れ施設募集



小・中学校教諭の普通免許状取得志願者には教育職員免許法の特例等に関する法律により社会福祉施設等における介護等体験（5日間）が義務化されています。

令和8年度は、約150名の学生が介護等体験する見込みで、現在受入れ施設を募集しています。

（募集締切は4月30日です）

★受入れ事業所には、介護等体験費用として1名1日あたり1,100円をお支払いします。

事業詳細は、本会ホームページ「義務教育教員免許取得志願者に対する社会福祉施設等における介護等体験」でご確認ください。

（右記二次元コードからご覧いただけます▶）



**【お問合せ先】 福祉人材課 国内人材部門**

**TEL 0776-28-3180 E-mail jinzai-center@f-shakyo.or.jp**

# 福井県社会福祉研修所 研修実施計画

福祉職場の環境改善、職員の資質向上につながる研修を実施します。皆様の受講をお待ちしております。

## (1) 福祉職員専門課題別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	<b>新</b> AI活用による業務効率化を図る研修	半日間×1コース	6~8月	福井
②	ハラスメント(困難事例対応)研修	1日間×1コース	7~9月	福井
③	接遇研修	1日間×1コース	6~8月	福井
④	<b>新</b> コーチング習得研修	1日間×1コース	7~9月	福井
⑤	<b>新</b> アンガーマネジメント研修	1日間×1コース	7~9月	福井
⑥	職員のほめ方・叱り方(部下指導・後輩指導対応)研修	1日間×1コース	7~9月	福井
⑦	高齢者・障がい者虐待防止研修	1日間×2回	6~8月、9~11月	福井 丹南

## (2) 福祉職員業種・職種別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	主任保育士・主幹保育教諭研修(保護者支援・子育て支援)	各3日間	6~8月	福井
	主任保育士・主幹保育教諭研修(マネジメント)		9~11月	
②	メンタルヘルス研修(一般職員、リーダー・管理職員)	半日間×各1コース	6~8月	福井
③	栄養士・調理師研修	1日間	9~11月	福井
④	老人・障がい者福祉施設看護職員研修	2日間×1コース	9~11月	福井
⑤	看護職員研修(全種別)	1日間×1コース	9~11月	福井

## (3) 介護支援専門員養成研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程I	14日間×2コース	5~7月、9~11月	オンライン
②	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程II	9日間×2コース	8~10月、11~R9.2月	オンライン
③	介護支援専門員再研修・更新研修(未経験者)	14日間×2コース	6~8月、12~R9.3月	オンライン
④	介護支援専門員実務研修	19日間×1コース	12~R9.3月	オンライン

## (4) 認知症介護実践者研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	認知症介護実践者研修	26日間×2コース	5~9月、10月~R9.2月	オンライン
②	認知症対応型サービス事業管理者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	5~7月、10~12月	福井・オンライン
③	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修(開設前受講義務付け)	2日間×2コース	6~7月、12~1月	福井
④	認知症対応型サービス事業開設者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	5~8月、10月~R9.1月	オンライン
⑤	認知症介護実践リーダー研修	28日間×1コース	8~11月	オンライン

## (5) 保育士等キャリアアップ研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	専門分野別研修	乳児保育	各3日間×1コース	6~12月
②		幼児教育		
③		障害児保育		
④		食育・アレルギー対応		
⑤		保健衛生・安全対策		
⑥		保護者支援・子育て支援		
⑦	マネジメント研修	各3日間×1コース	6~12月	オンライン
⑧	保育実践研修			福井

## (6) キャリアパス対応福祉職員生涯研修・定着支援研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開 催 場 所 等
①	初任者研修	3日間×1コース	6~7月	福井
②	中堅職員研修	3日間×1コース	9~10月	福井
③	チームリーダー研修	2日間×1コース	7~8月	福井
④	管理職員研修	2日間×1コース	10~11月	福井
⑤	就職内定者応援セミナー	半日間×1コース	R9.3月	福井



**研修の詳細内容は、本会ホームページでご確認ください。**

開催2か月前にはホームページに掲載するほか、「研修受講サポートシステム」よりメールにてご案内いたします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料(1名あたり)** 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン		
		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	

商品パンフレットは  
コチラから



(ふくしの保険  
ホームページ)

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入れ替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社  
 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

# 寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に  
心から感謝申し上げます。

皆様の善意は有効に  
活用させていただきます。

♥1月16日 **寄付者** 福井工業大学附属福井高等学校令和7年度前期生徒会 様  
●寄付金 41万45円 (写真①)  
**寄付先** 福井県社会福祉協議会 (子ども未来応援バンク)



♥2月19日 **寄贈者** 一般社団法人生命保険協会 福井県協会 様  
**寄贈先** 福祉巡回車2台 車いす5台 (写真②)  
●福祉巡回車/南越前町社会福祉協議会、福井県社会福祉協議会  
●車いす/花むつ苑デイサービスセンター、ウェルネス木村、大野市社会福祉協議会天神デイサービスセンター、越前町朝日デイサービスセンター「朝寿苑」、敦賀市社会福祉協議会地域リハビリセンター「ぬくもりの里」



♥2月20日 **寄付者** 福井県学校生活協同組合 様  
●8万4,979円 (写真③)  
**寄付先** 福井県社会福祉協議会 (子ども未来応援バンク)



♥3月4日 **寄贈者** クアトロブーム株式会社 様  
●車いす 5台 (写真④)  
**寄贈先** 坂井市社会福祉協議会霞の郷デイサービスセンター、デイサービスセンターモアヤング、ほっとプラザデイサービスセンター、デイサービスセンター第2 和上苑、福井県社会福祉センター



## 令和8年度 各種貸付事業のご案内

保育士・介護福祉士をめざす方や再就職する方、  
初めて介護・障害福祉分野の仕事に就く方、ひとり親家庭、  
児童養護施設や里親等から自立する方への貸付制度のご案内です。



いずれも一定の要件(資格取得、対象業務への従事等)を満たせば、貸付金の返済を免除します。

✓ 専門学校・短大・大学で資格を取る方に…  
**介護福祉士・社会福祉士・  
保育士修学資金**

✓ 介護の仕事をしながら資格取得を目指す方に…  
**介護福祉士実務者研修受講資金**

✓ もう一度、介護・保育の仕事にチャレンジする方に…  
**離職介護人材再就職準備金、  
保育士就職準備金**

✓ 初めて介護や障害福祉のお仕事に就いた方に…  
**介護・障害福祉分野就職支援金**

✓ 高等職業訓練促進給付金を活用し資格を目指す方に…  
**ひとり親家庭職業訓練資金**

✓ 就業し自立に向けて意欲的に取り組むひとり親の方に…  
**ひとり親家庭住宅支援資金**

✓ 児童養護施設や里親等から自立する方の  
資格取得や生活費等の支援に…  
**児童養護施設入所者自立支援資金**



4月1日から募集を開始します。

貸付要件や申請方法など、詳細は本会ホームページ上の募集要項等にてご確認ください。

【お問合せ先】 地域福祉課 ☎0776-24-4987

